

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
学 年	2年生	担当教員	阿部塊地/高橋淑江	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
科 目 名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	136時間	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
授業の進め方・学習方法・課題				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
リスニングとリーディングを交互に取り混ぜ、単語力強化のため				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
毎日単語チェックを行う。				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
また、集中力を持続させ受験できるように授業時間に時間を意識させ				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
問題を解くように促す。				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
対面授業と遠隔授業の併用実施				20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公開テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
【成績評価基準】				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	10月受験対策
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学年	2年生	担当教員	坂上啓貴 / 小林恵子	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検2級取得	時間数	136時間	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検2級過去問題集 出る順で最短合格単熟語EX			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検2級総合対策			7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
実務経験教員の経歴				31	英検2級対策P146～156解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	10月受験対策
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	英検準2級英単語1550 P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学年	2学年	担当教員	坂上啓貴/小林恵子/寺田喜之/菅川由子	3	英検準2級過去問題集2019年第1回 解答解説	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検準2級取得	時間数	136時間	4	英検準2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	準2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検準2級過去問題集 英検準2級英単語1550			6	長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検準2級総合対策			7	英検準2級対策P25～35 準2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				9	英検準2級対策P36～46 準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策
				10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検準2級対策P47～57 準2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策
				14	英検準2級総合対策P58～68 2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検準2級総合対策P69～79 準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる				16	短文暗唱テスト 英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策
リスニング対策を定期的に行う				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検準2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策
				31	英検準2級対策P146～156 解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	単熟語テスト100問 長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	FAMILY	TALK ABOUT FAMILY
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	FOOD	TALK ABOUT FOOD
学 年	2学年	担当教員	マルコスカルバロ、サラコーガン	3	TIME	TALK ABOUT TIME
科 目 名	English for Hospitality	時間数	51時間	4	HOUSE&HOME	TALK ABOUT HOUSE&HOME
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	MUSIC	TALK ABOUT MUSIC
使用テキスト名	TOPIC TALK SECOND EDITION - DAVID MARTIN			6	TRANSPORTATION	TALK ABOUT TRANSPORTATION
補助教材	POWERPOINT SLIDE			7	SPORTS	TALK ABOUT SPORTS
				8	NUMBERS	TALK ABOUT NUMBERS
科目概要と科目到達目標				9	BEST FRIENDS	TALK ABOUT BEST FRIENDS
科目概要: サービス業で使う英語表現を学び、反復練習することでサービスで使用する英語力を身に付ける				10	TV	TALK ABOUT TV
科目到達目標: 観光業で活かせる実践的な英語スキルを身に付けると同時に、観光英検対策として単語や表現を記憶する。				11	WORK	TALK ABOUT WORK
				12	VACATION	TALK ABOUT VACATION
				13	SCHOOL	TALK ABOUT SCHOOL
				14	MOVIES	TALK ABOUT MOVIES
授業の進め方・学習方法・課題				15	Assessment	
外資系ホテルや国内の観光業で必要となる英語表現を学び、ListeningやSpeaking活動、ペアワークやグループワークを通して体得する。				16	Assessment	
				17	MONEY	TALK ABOUT MONEY
				18	RESTAURANTS	TALK ABOUT RESTAURANTS
				19	ANIMALS	TALK ABOUT ANIMALS
				20	SHOPPING	TALK ABOUT SHOPPING
評価方法・成績評価基準				21	HEALTH&FITNESS	TALK ABOUT HEALTH&FITNESS
出席30%、課題30%、テスト40%				22	FASHION	TALK ABOUT FASHION
【成績評価基準】				23	TRAVEL	TALK ABOUT TRAVEL
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	BOOKS, MAGAZINES&NEWSPAPERS	TALK ABOUT BOOKS, MAGAZINES&NEWSPAPERS
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	SICKNESS	TALK ABOUT SICKNESS
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	HOLIDAYS	TALK ABOUT HOLIDAYS
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	FEARS	TALK ABOUT FEARS
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	DATING	TALK ABOUT DATING
				29	MARRIAGE	TALK ABOUT MARRIAGE
				30	BELIEFS	TALK ABOUT BELIEFS
				31	CRIME	TALK ABOUT CRIME
実務経験教員の経歴				32	OPINIONS	TALK ABOUT OPINIONS
				33	Assessment	
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1年次の復習	
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	中級1:1課 人間関係	人間関係について話せる
学年	2年	担当教員	李貞華・金相範・柳昌雲	3	中級1:2課 性格	性格の説明ができる
科目名	韓国語Ⅱ(コミュニケーション)	時間数	68単位時間	4	中級1:3課 地域福祉サービス	地域福祉サービスについて話せる
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	中級1:4課 交換・返品	交換と返品について話せる
使用テキスト名	韓国語と韓国文化中級1・中級2			6	中級1:5課 消費・節約	消費と節約について話せる
補助教材	韓国語と韓国文化ワークブック中級1・中級2			7	中級1:6課 住居環境	周りの環境について話せる
				8	中級1:7課 文化生活	文化生活について話せる
科目概要と科目到達目標				9	中級1:8課 食べ物・料理	食文化について話せる
韓国語を使用し日常生活に支障なくコミュニケーションを図ることができる				10	中級1:9課 故障・修理	故障内容が説明できる。修理が頼める
				11	中級1:10・11課 就職活動・不動産	就職活動と不動産について話せる
				12	中級1:12課 韓国の祝祭日	韓国の祝祭日について話せる
				13	中級1:13課 社会人	職場について説明できる
				14	中級1:14課 インターネット・スマートフォン	インターネット・スマートフォンの使い方が説明できる
授業の進め方・学習方法・課題				15	中級1:15課 悩みと相談	悩みが話せる
教材を中心に1コマの中に「聞く」「話す」「書く」「読む」の4技能を駆使するよう				16	中級1:16課 天気	気候について説明できる
授業内容を工夫する。この授業に関しては特に「話す」「聞く」を多用し、				17	前期試験	
一つのタスクに対して、韓国語でコミュニケーションがとれるよう反復練習を行う。				18	中級2:1課 韓国生活	韓国生活に慣れたか表現できる
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	中級2:2課 家族の変化	時代による家族の形の変化が説明できる
				20	中級2:3課 科学と技術	科学と技術の日常生活に及ぼす影響が説明できる
評価方法・成績評価基準				21	中級2:4課 韓国の儀礼	韓国の冠婚葬祭について話せる
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	中級2:5課 韓国の文化遺産	韓国の文化遺産が説明できる
【成績評価基準】				23	中級2:6課 国際化時代	国際化時代について話せる
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	中級2:7課 病の症状	病気の症状が話せる
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	中級2:8課 情報化社会	インターネット・スマートフォンの問題点が説明できる
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	中級2:9課 事件と事故	経験した事件や事故について話せる
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	中級2:10課 言語生活	韓国語勉強の難しさについて話せる
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	中級2:11課 韓国の教育制度	韓国の教育制度について話せる
				29	中級2:12課 韓国の選挙と投票	韓国の選挙と投票制度について話せる
				30	中級2:13課 環境保護	環境保護について話せる
				31	中級2:14課 生活と経済	経済状況が言える
実務経験教員の経歴				32	中級2:15課 法律と秩序	法律について話せる
				33	中級2:16課 移民生活	韓国に住む外国人としての経験談が話せる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1年次の復習	
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	中級1:1課 アドバイス	アドバイス表現について学ぶ
学 年	2年	担当教員	柳昌雲・金相範・平山美果	3	中級1:2課 変化・代行	変化や代行表現を学ぶ
科 目 名	韓国語Ⅱ(文法)	時間数	51単位時間	4	中級1:3課 既知・利用方法	既知表現・利用方法について学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	中級1:4課 相応・注意	相応・注意表現について学ぶ
使用テキスト名	韓国語と韓国文化中級1・中級2			6	中級1:5課 強調・伝聞	強調と伝聞表現を学ぶ
補助教材	韓国語と韓国文化ワークブック中級1・中級2			7	中級1:6課 被動形	受け身表現を学ぶ
科目概要と科目到達目標 コミュニケーションを維持するのに不可欠な文法やニュースや 新聞記事を理解できる文法を取得する(ハングル検定準2級程度)				8	中級1:7課 伝聞・比喻	伝聞・比喻について学ぶ
				9	中級1:8課 使役形	使役表現について学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題 教材を中心に1コマの中に「聞く」「話す」「書く」「読む」の4技能を駆使するよう 授業内容を工夫する。この授業に関しては文法の理解に重点を置き、 一つのタスクに対して、学習文法を使用して韓国語でコミュニケーションがとれるよう反復練習を行う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				10	中級1:9課 問い合わせ・要請	問い合わせ・要請表現を学ぶ
				11	中級1:10・11課 目的・補足	目的・補足表現を学ぶ
				12	中級1:12課 逆接・変化	逆接・変化表現を学ぶ
				13	中級1:13課 使役刑・順応	使役刑・順応表現について学ぶ
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				14	中級1:14課 確認・前提	確認・前提表現について学ぶ
				15	中級1:15課 意向・順次	意向・順次表現について学ぶ
				16	中級1:16課 願望・被動刑	願望表現・受け身表現を学ぶ
				17	前期試験	
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				18	中級2:1課 回顧	回顧表現を学ぶ
				19	中級2:2課 付加・受容	付加・受容表現を学ぶ
				20	中級2:3課 錯覚・習慣	錯覚・習慣の表現を学ぶ
				21	中級2:4課 結果・観察	結果・観察の表現を学ぶ
				22	中級2:5課 強調・無関係	強調・無関係の表現を学ぶ
				23	中級2:6課 断絶・比較	断絶・比較の表現を学ぶ
				24	中級2:7課 条件・結果	条件・結果の表現を学ぶ
				25	中級2:8課 確認・多目的	確認・多目的の表現を学ぶ
				26	中級2:9課 安堵・原因	安堵・原因の表現を学ぶ
				27	中級2:10課 不意・偽装	不意・偽装の表現を学ぶ
実務経験教員の経歴				28	中級2:11課 付加・当然	付加・当然の表現を学ぶ
				29	中級2:12課 推測・強調	推測・強調の表現を学ぶ
				30	中級2:13課 条件・目的	条件・目的の表現を学ぶ
				31	中級2:14課 根拠・完全否定	根拠・完全否定の表現を学ぶ
				32	中級2:15課 想起・当然	想起・当然の表現を学ぶ
				33	中級2:16課 推測・疑惑・例外	推測・疑惑・例外の表現を学ぶ
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1年次の復習	
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	中級1:1課 人間関係	人間関係についての文が読める
学 年	2年	担当教員	李貞華・金相範・李垠姫・平山・柳昌雲	3	中級1:2課 性格	性格についての文が読める
科 目 名	韓国語Ⅱ(読解)	時間数	51単位時間	4	中級1:3課 地域福祉サービス	地域福祉サービスについての文が読める
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	中級1:4課 交換・返品	交換と返品についての文が読める
使用テキスト名	韓国語と韓国文化中級1・中級2			6	中級1:5課 消費・節約	消費と節約についての文が読める
補助教材	韓国語と韓国文化ワークブック中級1・中級2			7	中級1:6課 住居環境	周りの環境についての文が読める
科目概要と科目到達目標 案内文や新聞記事などまとまった文章を理解することができる				8	中級1:7課 文化生活	文化生活についての文が読める
				9	中級1:8課 食べ物・料理	食文化についての文が読める
授業の進め方・学習方法・課題 教材を中心に1コマの中に「聞く」「話す」「書く」「読む」の4技能を駆使するよう 授業内容を工夫する。この授業に関しては文章読解に重点を置き、 一つのタスクに対して、文章を理解しコミュニケーションがとれるよう反復練習を行う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				10	中級1:9課 故障・修理	故障内容・修理についての文が読める
				11	中級1:10・11課 就職活動・不動産	就職活動と不動産についての文が読める
				12	中級1:12課 韓国の祝祭日	韓国の祝祭日についての文が読める
				13	中級1:13課 社会人	職場についての文が読める
				14	中級1:14課 インターネット・スマートフォン	インターネット・スマートフォンの取扱説明書が読める
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	中級1:15課 悩みと相談	悩みについての文章が読める
				16	中級1:16課 天気	気候についての文が読める
				17	前期試験	
				18	中級2:1課 韓国生活	韓国生活に慣れたかについての文が読める
				19	中級2:2課 家族の変化	時代による家族の形の変化についての文が読める
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				20	中級2:3課 科学と技術	科学と技術の人に及ぼす影響についての文が読める
				21	中級2:4課 韓国の儀礼	韓国の冠婚葬祭についての文が読める
				22	中級2:5課 韓国の文化遺産	韓国の文化遺産の説明文が読める
				23	中級2:6課 国際化時代	国際化時代についての文が読める
				24	中級2:7課 病の症状	病気の症状についての文が読める
				25	中級2:8課 情報化社会	インターネット・スマートフォンについての文が読める
				26	中級2:9課 事件と事故	経験した事件や事故についての文が読める
				27	中級2:10課 言語生活	韓国語勉強の難しさについての文が読める
				28	中級2:11課 韓国の教育制度	韓国の教育制度についての文が読める
				29	中級2:12課 韓国の選挙と投票	韓国の選挙と投票制度についての文が読める
				30	中級2:13課 環境保護	環境保護についての文が読める
実務経験教員の経歴				31	中級2:14課 生活と経済	経済状況の説明文が読める
				32	中級2:15課 法律と秩序	法律についての文が読める
				33	中級2:16課 移住生活	外国人としての韓国経験についての文が読める
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1年次の復習	
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	中級1:1課 人間関係	人間関係について聞き取れる
学 年	2年	担当教員	李貞華・柳昌雲・平山美果	3	中級1:2課 性格	性格について聞き取れる
科 目 名	韓国語Ⅱ(聴解)	時間数	51単位時間	4	中級1:3課 地域福祉サービス	地域福祉サービスについて聞き取れる
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	中級1:4課 交換・返品	交換と返品について聞き取れる
使用テキスト名	韓国語と韓国文化中級1・中級2			6	中級1:5課 消費・節約	消費と節約について聞き取れる
補助教材	韓国語と韓国文化ワークブック中級1・中級2			7	中級1:6課 住居環境	周りの環境について聞き取れる
科目概要と科目到達目標 日常生活に必要な案内文を理解でき、簡単なニュースを聞き取ることができる				8	中級1:7課 文化生活	文化生活について聞き取れる
				9	中級1:8課 食べ物・料理	食文化について聞き取れる
授業の進め方・学習方法・課題 教材を中心に1コマの中に「聞く」「話す」「書く」「読む」の4技能を駆使するよう 授業内容を工夫する。この授業に関しては特に聴解に重点を置き 一つのタスクに対して、韓国語で話した内容を理解しコミュニケーションがとれるよう反復練習を行う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				10	中級1:9課 故障・修理	故障内容・修理について聞き取れる
				11	中級1:10・11課 就職活動・不動産	就職活動と不動産について聞き取れる
				12	中級1:12課 韓国の祝祭日	韓国の祝祭日について聞き取れる
				13	中級1:13課 社会人	職場について聞き取れる
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				14	中級1:14課 インターネット・スマートフォン	インターネット・スマートフォンの取扱説明が聞き取れる
				15	中級1:15課 悩みと相談	悩みについての文章が聞き取れる
				16	中級1:16課 天気	気候について聞き取れる
				17	前期試験	
				18	中級2:1課 韓国生活	韓国生活に慣れたかについて聞き取れる
				19	中級2:2課 家族の変化	時代による家族の形の変化について聞き取れる
				20	中級2:3課 科学と技術	科学と技術の人に及ぼす影響について聞き取れる
				21	中級2:4課 韓国の儀礼	韓国の冠婚葬祭について聞き取れる
				22	中級2:5課 韓国の文化遺産	韓国の文化遺産の説明が聞き取れる
				23	中級2:6課 国際化時代	国際化時代について聞き取れる
				24	中級2:7課 病の症状	病気の症状について聞き取れる
				25	中級2:8課 情報化社会	インターネット・スマートフォンについて聞き取れる
				26	中級2:9課 事件と事故	経験した事件や事故について聞き取れる
				27	中級2:10課 言語生活	韓国語勉強の難しさについて聞き取れる
実務経験教員の経歴				28	中級2:11課 韓国の教育制度	韓国の教育制度について聞き取れる
				29	中級2:12課 韓国の選挙と投票	韓国の選挙と投票制度について聞き取れる
				30	中級2:13課 環境保護	環境保護について聞き取れる
				31	中級2:14課 生活と経済	経済状況の説明が聞き取れる
				32	中級2:15課 法律と秩序	法律について聞き取れる
				33	中級2:16課 移住生活	外国人としての韓国経験について聞き取れる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	ハングル能力検定 中級 必須単語習得	中級単語の把握と暗記
学年	2年	担当教員	平山・朴・小林・李垠姫・金相範	2	ハングル能力検定 中級 必須文法解説	中級文法の把握と理解
科目名	韓国語検定対策Ⅱ	時間数	68単位時間	3	ハングル能力検定 中級 文章読解問題解説	中級文章問題の理解
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	ハングル能力検定 過去問題 模試①	合格点の把握と実力確認
使用テキスト名	TOPIKⅡ完全対策 ハングル能力検定過去問題集			5	ハングル能力検定 過去問題 模試②	合格点の把握と実力確認
補助教材	HOT TOPIKⅠⅡ			6	ハングル能力検定 振り返り / TOPIK 単語習得①	ハングル能力検定の振り返り
科目概要と科目到達目標				7	TOPIK 中級 単語習得②	中級単語の把握と暗記
6月、11月実施のハングル能力検定と10月、1月実施の韓国語能力試験(TOPIK)の2種類の検定対策。 1年次終了までにハングル能力検定3級とTOPIK3級の取得を目指す。				8	TOPIK 中級 必須文法解説①	中級文法の把握と理解
				9	TOPIK 中級 必須文法解説②	中級文法の把握と理解
				10	TOPIK 中級 必須文法解説③	中級文法の把握と理解
				11	TOPIK 中級 読解問題解説①	中級文章問題の理解
				12	TOPIK 中級 読解問題解説②	中級文章問題の理解
				13	TOPIK 中級 聴解問題解説①	中級聴解問題の理解
				14	TOPIK 中級 聴解問題解説②	中級聴解問題の理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	TOPIK 過去問題 模試①	合格点の把握と実力確認
4月～6月はハングル能力試験対策。6月～7月はTOPIK対策という様に試験実施日によって 対策授業内容を変えて行う。また、1年次2年次合同に授業を行い各検定の級別にクラス分けをする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	TOPIK 過去問題 模試②	合格点の把握と実力確認
				17	TOPIK試験振り返り/ハングル能力検定中級 必須単語習得	TOPIK振り返り
				18	ハングル能力検定 中級文法解説①	中級文法の把握と暗記
				19	ハングル能力検定 中級文法解説②	中級文法の把握と暗記
				20	ハングル能力検定 中級 読解解説①	中級文章問題の理解
評価方法・成績評価基準				21	ハングル能力検定 中級 読解解説②	中級文章問題の理解
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	ハングル能力検定 中級 聴解解説①	中級聴解問題の理解
【成績評価基準】				23	ハングル能力検定 中級 聴解解説②	中級聴解問題の理解
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	ハングル能力検定 過去問題 模試①	合格点の把握と実力確認
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	ハングル能力検定 過去問題 模試②	合格点の把握と実力確認
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	ハングル能力検定 過去問題 模試③	合格点の把握と実力確認
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	ハングル能力検定 振り返り / TOPIK中級 単語習得①	ハングル検定振り返り
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	TOPIK 上級 単語習得②	上級単語の把握と暗記
				29	TOPIK 上級 必須文法解説①	上級文法の把握と暗記
				30	TOPIK 上級 必須文法解説②	上級文法の把握と暗記
				31	TOPIK 上級 読解問題解説①	上級文章問題の理解
実務経験教員の経歴				32	TOPIK 上級 読解問題解説②	上級文章問題の理解
				33	TOPIK 上級 聴解問題解説①	上級聴解問題の理解
				34	TOPIK 上級 聴解問題解説②	上級聴解問題の理解

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	2. 人がいない。最低賃金の衝撃の中、無人化加速	韓国の社会問題を理解する
学年	2年	担当教員	金相範	2	3. 小学校1年生の保護者「10時出勤」を推進	韓国の社会問題を理解する
科目名	時事韓国語	時間数	17単位時間	3	8. 「吹き替え映画」声優たちの声の魔法	韓国の文化を理解する
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	4	9. 故宮巡り、1千万人時代。観覧ポイントは？	韓国の文化を理解する
使用テキスト名	KBSニュースで学ぶ時事韓国語			5	10. 文大統領「国公立保育園利用率40%まで高める」	韓国の政治問題を理解する
補助教材	KBSニュース動画			6	11. 政府、原発新設白紙化問題で	韓国の政治問題を理解する
科目概要と科目到達目標 韓国で話題になっているテーマについてその背景を解説し、そのテーマについて討論または意見を文章で表現する。 現代社会が抱える問題を理解する。ニュースや新聞での表現方法や新語・流行語を学ぶ。				7	12. 初めて呼ぶ「お父さん」「お母さん」会うなり号泣	韓国の政治問題を理解する
				8	18. 監視に自動認識まで。頭脳化する監視カメラ	韓国のIT・科学問題を理解する
授業の進め方・学習方法・課題 インターネットやYouTubeを活用し現地のニュース映像を使い、授業を展開する。学生が意見を発表したり、討論する時間を必ず設ける。また、学生に話題のトピックを発表させる機会も設ける。 対面授業と遠隔授業の併用実施				9	20. 各地で時々雪。明日通勤時は冬將軍の猛威「和らぐ」	韓国の天気を理解する
				10	24. 同じ服装、面接官の抽選。変わる採用試験現場	韓国の経済問題を理解する
				11	25. 不動産緊急点検。ソウルは「暴騰」地方は「売れ残り続出」	韓国の経済問題を理解する
				12	28. 1千万の観客を乗せた「タクシー運転手」	韓国の芸能を理解する
				13	31. ワールドカップの年。韓国サッカー、旋風を狙う	韓国のスポーツを理解する
				14	33. ニュース解説「巨大な壁」打ち破った英雄	韓国のスポーツを理解する
				15	34. 「ドラマの名所」ソウル・桂洞の路地の魅力	韓国の生活・健康問題を理解する
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	35. 蚊を追いはらう方法、どこまでご存知？	韓国の生活・健康問題を理解する
				17	前期試験	
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	翻訳とは何か？(商業翻訳、映像翻訳など)	翻訳についての理解
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	いろいろな翻訳をしてみる(翻訳テクニックとは)	翻訳技術についての理解
学 年	2年	担当教員	平山美果	3	韓国語の外来語①	韓国語の外来語について学ぶ
科 目 名	韓日通訳翻訳演習	時間数	17単位時間	4	韓国語の外来語②	韓国語の外来語について学ぶ
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	韓国のことわざ①	韓国のことわざを学ぶ
使用テキスト名	日本語から考える韓国語の表現			6	韓国のことわざ②	韓国のことわざを学ぶ
補助教材	自主製作翻訳問題			7	韓国の四字熟語①	韓国の四字熟語を学ぶ
				8	韓国の四字熟語②	韓国の四字熟語を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	偉人の言葉	韓国の偉人の言葉を知る
初級レベルの学生を対象に行う韓→日の翻訳入門の授業。 韓国語独特の言い回しを学び、日本語と対照させ日本語の特徴も 合わせて学び、翻訳をすることで文化的背景、社会的背景なども含め 文の内容を深く読み取る。				10	韓国歌謡、童謡の歌詞を翻訳①	短い文の翻訳実習
				11	韓国歌謡、童謡の歌詞を翻訳②	短い文の翻訳実習
				12	韓国のイベントパンフレット	短文で分かりやすい表現を学ぶ
				13	韓国の絵本を翻訳①	韓国語のオノマトペを学ぶ
				14	韓国の絵本を翻訳②	韓国語のオノマトペを学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	韓国小説の翻訳①	時代背景や韓国語特有の表現を学ぶ
辞書、インターネットなどの情報源を駆使して、韓国語の文を読めるようになること。 韓国のことわざや四字熟語、外来語などを理解し日本語に置き換えることができる。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	韓国小説の翻訳②	時代背景や韓国語特有の表現を学ぶ
				17	試験	
評価方法・成績評価基準						
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	1. 韓国人はおしゃべりが必要	韓国生活についての理解
学年	2年	担当教員	金相範	2	2. 生涯で最初の酒、百日酒	韓国生活についての理解
科目名	韓国語読解特講	時間数	34単位時間	3	3. 人情と韓国人	韓国生活についての理解
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	4. 恋愛はしんどい	韓国生活についての理解
使用テキスト名	韓国語リーディング タングニの韓国人生劇場			5	5. 豚肉と経済成長	韓国の食べ物についての理解
補助教材	自主製作読解問題			6	6. 汁さえもあげない	韓国の食べ物についての理解
科目概要と科目到達目標 韓国語能力試験上級対策として、長文の速読能力を促す。 試験頻出問題の時事用語や社会問題の背景などを理解させ、 迅速かつ正確に文章を読み込めるようにする				7	7. 牛肉は捨てる場所がない	韓国の食べ物についての理解
				8	8. 辛い物が無ければ食事じゃない	韓国の食べ物についての理解
				9	9. 混ぜなきゃ気が済まない	韓国の食べ物についての理解
				10	10. とまらない鶏肉愛	韓国の食べ物についての理解
				11	11. 歴史あるソウルの光化門と故宮	韓国文化についての理解
				12	12. 1位だけが記憶される世界	韓国文化についての理解
				13	13. 韓国の歴史と韓流パワー	韓国文化についての理解
授業の進め方・学習方法・課題				14	前期のまとめ	
時事用語の習得、上級文章問題に頻出の単語や文法の反復練習を行う 授業内に数多くの問題をこなし、授業後半はまとめて解説を行う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				15	前期試験	
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	14. 人生をどこへ委ねるのか	韓国文化についての理解
				17	15. お盆やお正月が好きだった理由	韓国文化についての理解
				18	16. 生涯の夢、マイホームと自動車	韓国人の人生についての理解
				19	17. 財閥と庶民	韓国人の人生についての理解
				20	18. 修能は人生決定の試験	韓国人の人生についての理解
				21	19. 電車の中での座席の譲り合いと家父長社会	韓国人の人生についての理解
				22	20. 韓国人の人生劇場	韓国人の人生についての理解
				23	21. 韓国人の挨拶	韓国人の言葉遣いについての理解
				24	22. 世宗大王はどう思うだろうか	韓国人の言葉遣いについての理解
				25	23. 悪い言葉が多い韓国語	韓国人の言葉遣いについての理解
				26	24. 早く早く！と適当主義	韓国人の言葉遣いについての理解
				27	25. パンマルで話す？敬語にする？	韓国人の言葉遣いについての理解
				実務経験教員の経歴		
				29	補助教材2-8. 梅雨の季節の関節痛、食中毒注意	韓国の社会についての理解
				30	補助教材3-6. 友達より自分の性向をわかってくれるパソコン	韓国の文化・科学・環境についての理解
				31	補助教材4-3. 韓国の青少年、先進国より1時間少なくて寝る	韓国人の健康・天気についての理解
				32	補助教材4-7. 世界最高レベルの喫煙率、低くなれるのか	韓国人の健康・天気についての理解
				33	後期のまとめ	
				34	後期試験	

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	ローカライズとは？単純翻訳と違う点	ローカライズの目的について学ぶ
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	作品中の「しりとり」の韓日翻訳について①	単語一つ一つの翻訳ではできないローカライズに必要なセンスを磨く
学 年	2年	担当教員	金相範	3	作品中の「しりとり」の韓日翻訳について②	単語一つ一つの翻訳ではできないローカライズに必要なセンスを磨く
科 目 名	韓国語ローカライズ実習	時間数	34単位時間	4	作品中の「しりとり」の日韓翻訳について①	両国の文化について精通する必要性に気付く
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	作品中の「しりとり」の日韓翻訳について②	両国の文化について精通する必要性に気付く
使用テキスト名	韓国WEBTOON・日本の漫画翻訳用資料			6	チーム作業①について説明:「翻訳」「写植」「校正」/パート分け	各パート毎に必要な技術を習得後チームを結成し、共同作業を学ぶ
補助教材	Youtube動画翻訳資料			7	チーム作業①「韓国Webtoon」ローカライズ①	作品の概要・背景・キャラクターの性格を把握する
				8	チーム作業①「韓国Webtoon」ローカライズ②	各自担当した役割を実習する
科目概要と科目到達目標				9	チーム作業①「韓国Webtoon」ローカライズ③	仕上げ・発表および添削
<p>韓日・日韓翻訳のスキルをさらに磨くため、ゲーム・Webtoon・動画などの作品のローカライズ実習を行う。</p> <p>ローカライズに必要な技術をひとつひとつ学び、チーム作業も体験する。</p> <p>両国の文化についてさらなる知識を得て、単語1つ1つの翻訳ではなく、作品の「物語の流れ」がより読者に伝わりやすくするための工夫を、学生が自ら考えてみる機会を設ける。</p>				10	チーム作業②③について説明:「翻訳」「字幕付け」「校正」/パート分け	動画の字幕付けに注意すべき点を習得・チーム結成、共同作業を学ぶ
				11	チーム作業②「動画」韓日ローカライズ①	ローカライズの方向性をチーム内で相談し、決める
				12	チーム作業②「動画」韓日ローカライズ②	各自担当した役割を実習する
				13	チーム作業②「動画」韓日ローカライズ③	仕上げ・発表および添削
				14	チーム作業③「動画」日韓ローカライズ①	ローカライズの方向性をチーム内で相談し、決める
				15	チーム作業③「動画」日韓ローカライズ②	各自担当した役割を実習する
授業の進め方・学習方法・課題				16	チーム作業③「動画」日韓ローカライズ③	仕上げ・発表および添削
<p>授業の導入部では、ローカライズ概念を伝え、個人作業でローカライズの基礎を体験してみる。</p> <p>中盤から、2～3人で1つのチームを組み、役割分担でローカライズ作業を行う。</p> <p>媒体によるローカライズ方法の違いや、各役割に必要な技術、チーム作業でのコミュニケーション能力を磨き、ローカライズの仕事としての魅力を感じてもらおうとする。</p>				17	レポート作成後提出	
評価方法・成績評価基準						
①提出物60% ②授業への積極的参加20% ③学習意欲 20%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	1課 会社と商品①	生産製品について説明できるようになる
学年	2年	担当教員	金相範/張鳳仙/李垠延/柳昌雲/李垠延	2	1課 会社と商品②	セールについて表現できるようになる
科目名	ビジネス韓国語Ⅱ	時間数	51単位時間	3	2課 挨拶・余暇①	しばらく会っていない人との挨拶について学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	2課 挨拶・余暇②	余暇生活・レジャー表現について学ぶ
使用テキスト名	すぐ学んですぐ使えるビジネス韓国語2			5	振り返り①	
補助教材	すぐ学んですぐ使えるビジネス韓国語1			6	3課 訪問・外勤①	訪問先について表現できるようになる
科目概要と科目到達目標				7	3課 訪問・外勤②	外勤予定について表現できるようになる
				8	4課 対人関係①	予定変更ができるようになる
ビジネスシーンでよく使う言い回し、お客様を案内するフレーズや 電話応対、会社訪問、ビジネスメール等を学ぶ。 目上の方や上司、取引先相手に失礼のないようコミュニケーションをとることができる。 今実際に韓国で働いている外国人がよく使う表現を学ぶ。 韓国企業従事者が就活生に学んでほしい表現について学ぶ。				9	4課 対人関係②	他人を紹介できるようになる
				10	振り返り②	
授業の進め方・学習方法・課題				11	5課 社内コミュニケーション①	参加希望を促す表現を習得する
				12	5課 社内コミュニケーション②	会議の予定について話せるようになる
文法や語彙の解説の後、必ずロールプレイを行う。 いろんなビジネスシーンで使用できるよう様々なタスクを用意する。 毎回授業の後半にパソコンと携帯で韓国語が使えるように練習し、ネイティブのように使えるようになる。 対面授業と遠隔授業の併用実施				13	6課 人事管理①	資格証について説明できるようになる
				14	6課 人事管理②	人事異動について話せるようになる
評価方法・成績評価基準				15	振り返り③	
				16	韓国語でのパソコンスキル個別チェック①	
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				17	前期試験	
				18	7課 勤務条件①	昇給や福利厚生について話せるようになる
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				19	7課 勤務条件②	健康診断について表現できるようになる
				20	8課 顧客相談①	サービスセンターでの応対ができるようになる
【成績評価基準】				21	8課 顧客相談②	製品の注意事項について表現できるようになる
				22	振り返り④	
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	9課 協商とオーダー①	値引きの申し出を断る表現について学ぶ
				24	9課 協商とオーダー②	決済方法について話せるようになる
【成績評価基準】				25	10課 トラブル解決①	突発事項について対処できるようになる
				26	10課 トラブル解決②	急用ができて断るときに丁寧に言えるようになる
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	振り返り⑤	
				28	11課 製品説明①	製品の機能について顧客に説明できるようになる
【成績評価基準】				29	11課 製品説明②	製品の機能について顧客に説明できるようになる
				30	12課 報告①	製品の長所を分析し、報告できるようになる
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				31	12課 報告②	製品の短所を分析し、報告できるようになる
				32	振り返り④	
実務経験教員の経歴				33	韓国語でのパソコンスキル個別チェック②	
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション 韓国語ドラマのイメージ	
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	ドラマからみる「喜怒哀楽」「喜」①	「喜」の表現を学ぶ
学 年	2年	担当教員	桑野知実	3	ドラマからみる「喜怒哀楽」「怒」②	「怒」の表現を学ぶ
科 目 名	視聴覚韓国語	時間数	34単位時間	4	ドラマからみる「喜怒哀楽」「哀」③	「哀」の表現を学ぶ
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	ドラマからみる「喜怒哀楽」「楽」④	「楽」の表現を学ぶ
使用テキスト名	ドラマの全セリフで学ぶ韓国語			6	ドラマからみる「韓国 社会」財閥、事件など	社会問題や時事問題の把握
補助教材	POWERPOINT SLIDE			7	ドラマからみる「人間関係」	韓国特有の人間関係の理解
				8	ドラマ制作について	韓国ドラマ制作を通して表現理解
科目概要と科目到達目標				9	役割分担や作業の確認	
① 視聴覚教材を通して韓国語の独特の言い回しや時事言語、流行語などを理解できるようになる。 ② 韓国語で状況に合わせた会話例を作ることができ、自然な発音で発話することができる。				10	作業1 シナリオを考える①	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				11	作業1 シナリオを考える②	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				12	作業1 シナリオを考える③	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				13	作業1 シナリオを考える④	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				14	作業2 映像に合わせてセリフを練習する①	韓国ドラマ制作を通して表現理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	作業2 映像に合わせてセリフを練習する②	韓国ドラマ制作を通して表現理解
文法や語彙の解説の後、必ずロールプレイを行う。 いろんなビジネスシーンで使用できるよう様々なタスクを用意する。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	作業3 シナリオに合った映像を撮影する①	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				17	作業3 シナリオに合った映像を撮影する②	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				18	作業3 シナリオに合った映像を撮影する③	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				19	作業3 シナリオに合った映像を撮影する④	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				20	作業3 シナリオに合った映像を撮影する⑤	韓国ドラマ制作を通して表現理解
評価方法・成績評価基準				21	作業4 編集をする①	韓国ドラマ制作を通して表現理解
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	作業4 編集をする②	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				23	作業4 編集をする③	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				24	作業4 編集をする④	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				25	作業4 編集をする⑤	韓国ドラマ制作を通して表現理解
				26	作業5 日本語/韓国語字幕を付ける①	映像字幕実習
				27	作業5 日本語/韓国語字幕を付ける②	映像字幕実習
				28	作業5 日本語/韓国語字幕を付ける③	映像字幕実習
				29	作業5 日本語/韓国語字幕を付ける④	映像字幕実習
				30	発表会準備 あらすじパンフ作成①	
				31	発表会準備 あらすじパンフ作成②	
実務経験教員の経歴				32	制作ドラマ 発表会①	韓国語表現についての評価
				33	制作ドラマ 発表会②	韓国語表現についての評価
				34	発表会 振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい				
				1	文学作品 朗読①	正確な抑揚や発音を習得する				
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	文学作品 朗読②	正確な抑揚や発音を習得する				
学 年	2年	担当教員	朴仁智	3	文学作品 朗読③	正確な抑揚や発音を習得する				
科 目 名	韓国語オーラルプレゼンテーション	時間数	34単位時間	4	文学作品 朗読④	正確な抑揚や発音を習得する				
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	ニュース原稿 朗読①	正確な抑揚や発音を習得する				
使用テキスト名	KBSの韓国語標準発音と朗読			6	ニュース原稿 朗読②	正確な抑揚や発音を習得する				
補助教材	POWERPOINT SLIDE			7	ニュース原稿 朗読③	正確な抑揚や発音を習得する				
科目概要と科目到達目標 韓国語独特な発音を理解し、ネイティブに近い発音と抑揚を習得する まとまった文章を話し、聴衆が文章を見なくても聞き取りだけで 内容把握できるようプレゼンテーション能力を高める。 文章のまとまりを意識した抑揚と強弱ができる。				8	案内放送①	正確な抑揚や発音を習得する				
				9	案内放送②	正確な抑揚や発音を習得する				
				10	案内放送③	正確な抑揚や発音を習得する				
				11	天気予報①	正確な抑揚や発音を習得する				
				12	天気予報②	正確な抑揚や発音を習得する				
				13	天気予報③	正確な抑揚や発音を習得する				
				14	ドキュメンタリー ナレーション①	正確な抑揚や発音を習得する				
				15	ドキュメンタリー ナレーション②	正確な抑揚や発音を習得する				
				16	ドキュメンタリー ナレーション③	正確な抑揚や発音を習得する				
				17	試験					
				18	試験振り返り					
				授業の進め方・学習方法・課題 発音の授業のため、発音練習する時間を授業時間内に数多く設ける ペアワークやグループワークを活用し、短時間でも多くの学生が 発音練習できるよう工夫する。 遠隔授業のみ実施				19	スピーチ内容構成①	スピーチコンテストの発表内容の完成
								20	スピーチ内容構成②	スピーチコンテストの発表内容の完成
21	スピーチ内容構成③	スピーチコンテストの発表内容の完成								
22	スピーチ内容構成④	スピーチコンテストの発表内容の完成								
23	スピーチ内容 発音練習①	発表内容における正しい発音と抑揚の習得								
24	スピーチ内容 発音練習②	発表内容における正しい発音と抑揚の習得								
25	スピーチ内容 発音練習③	発表内容における正しい発音と抑揚の習得								
26	スピーチ内容 発音練習④	発表内容における正しい発音と抑揚の習得								
27	スピーチ第1次発表会①	練習成果発表								
28	スピーチ第1次発表会②	練習成果発表								
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	発表会振り返り					
				30	スピーチ練習 ①	振り返りを基に発音をブラッシュアップ				
				31	スピーチ練習 ②	振り返りを基に発音をブラッシュアップ				
				実務経験教員の経歴				32	スピーチ第2次発表会①	練習成果発表
								33	スピーチ第2次発表会②	練習成果発表
								34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい				
				1	オリエンテーション	授業の目的や達成度について確認する				
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	韓国語の書き言葉について①	話し言葉と書き言葉の違いを理解する				
学 年	2年	担当教員	平山美果	3	韓国語の書き言葉について②	話し言葉と書き言葉の違いを理解する				
科 目 名	韓国語文章表現Ⅱ	時間数	34単位時間	4	ハンダ体の作り方と原稿用紙の使い方①	ハンダ体の理解と原稿用紙使用法の理解				
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	ハンダ体の作り方と原稿用紙の使い方②	ハンダ体の理解と原稿用紙使用法の理解				
使用テキスト名	韓国語能力試験 TOPIKⅡ 作文			6	日本語的な韓国語にならないための注意点①	韓国語特有の表現方法について学ぶ				
補助教材	HOT TOPIKⅡ 作文			7	日本語的な韓国語にならないための注意点②	韓国語特有の表現方法について学ぶ				
科目概要と科目到達目標 韓国語の文章表現を学び、自分の意見をまとめた文章で表現できるようにする。 韓国語能力試験の作文対策も兼ねている。そのため時事的な問題に対して決まった時間に現状について説明する文章と自分の意見を合わせて表現することができる。				8	作文に使える文中・文末表現①	作文に使える文中・文末表現について学ぶ				
				9	作文に使える文中・文末表現②	作文に使える文中・文末表現について学ぶ				
				10	作文によく使用する語彙について①	作文によく使用する語彙について学ぶ				
				11	作文によく使用する語彙について②	作文によく使用する語彙について学ぶ				
				12	これまでのまとめ					
				13	グラフを見て説明文を書く(300字程度)①	グラフについての説明文が書ける				
				14	グラフを見て説明文を書く(300字程度)②	グラフについての説明文が書ける				
				授業の進め方・学習方法・課題 授業時間の前半は時事的な語彙や作文に必要な語彙や文法などを講義で学ぶ。 授業後半では、一つのテーマにそって自分の意見についての作文を書き、提出する。 遠隔授業のみ実施				15	資料を見て説明文を書く(300字程度)①	資料についての説明文が書ける
				16	資料を見て説明文を書く(300字程度)②	資料についての説明文が書く				
				17	前期試験					
				18	SNSの発達について自分の意見を書く①	SNSの発達について自分の意見が書ける				
				19	SNSの発達について自分の意見を書く①	SNSの発達について自分の意見が書ける				
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				20	グローバル化と異文化理解について①	グローバル化について意見が書ける				
21	グローバル化と異文化理解について②	グローバル化について意見が書ける								
22	大気汚染の問題点と解決方法について①	大気汚染問題について自分の意見が書ける								
23	大気汚染の問題点と解決方法について②	大気汚染問題について自分の意見が書ける								
24	人口減少についてその問題と解決策について①	人口減少について自分の意見が書ける								
25	人口減少についてその問題と解決策について②	人口減少について自分の意見が書ける								
26	スマートフォン利用の長所短所について①	スマートフォンについて自分の意見が書ける								
27	スマートフォン利用の長所短所について②	スマートフォンについて自分の意見が書ける								
28	産業用ロボットの長所短所について①	産業用ロボットについて意見が書ける								
29	産業用ロボットの長所短所について②	産業用ロボットについて意見が書ける								
30	映画の暴力性が与える青少年への影響について①	映画が与える影響について意見が書ける								
31	映画の暴力性が与える青少年への影響について②	映画が与える影響について意見が書ける								
実務経験教員の経歴				32	後期のまとめと振り返り①					
				33	後期のまとめと振り返り②					
				34	後期試験					

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	就職活動にのぞむにあたって	働く意義を理解する
学 科 名	トラベル観光科・国際観光大学併修科・アジア言語科	必須・選択	必須	2	企業説明会①	エコパートナーズ
学 年	2年	担当教員	矢後 達夫	3	企業説明会②	加賀屋
科 目 名	就職実務Ⅱ	時間数	34単位時間	4	企業説明会③	コメリ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	企業説明会④	グランベルホテル
使用テキスト名	なし			6	企業説明会⑤	県内企業
補助教材	パワーポイントスライド(職業能力開発講座・ビジネス基礎編より抜粋活用)			7	企業説明会⑥	県外企業
				8	企業説明会⑦	県内企業
科目概要と科目到達目標				9	企業説明会⑧	県外企業
前半はさまざまな企業説明会を授業に織り込んで実施する。 必要に応じて職業適性検査を実施し、本人適性・職業適性から求人エントリーを絞り込む一助とする。 後半は就活が進まない学生に絞り、個人面談を繰り返し実施して年度末までの就職先を選定していく。 右記の週に伴う学習内容は順不同とする。				10	企業説明会⑨	県内企業
				11	企業訪問について①質問事項の整理	企業訪問で行う質問を明確にし、文章表現を精査する。
				12	企業訪問について②選考への心構え	企業の内定を得るための心構えや、社会人としての心構えを学ぶ。
				13	企業訪問のお礼状について	訪問した企業への礼状野書き方を学ぶ。
				14	就職試験のマナーについて	就職試験における一般的な礼儀作法を学ぶ。
授業の進め方・学習方法・課題				15	控室でのマナーについて	控室で待つときの一般的な礼儀作法を学ぶ。
前半はさまざまな企業説明会を授業に織り込んで実施する。 必要に応じて職業適性検査を実施し、本人適性・職業適性から求人エントリーを絞り込む一助とする。 後半は就活が進まない学生に絞り、個人面談を繰り返し実施して年度末までの就職先を選定していく。 右記の週に伴う学習内容は順不同とする。				16	椅子の座り方、お辞儀の仕方 実践練習①	椅子の座り方、お辞儀の仕方等就職試験の際の所作を学ぶ。
				17	椅子の座り方、お辞儀の仕方 実践練習②	椅子の座り方、お辞儀の仕方等就職試験の際の所作を学ぶ。
				18	面接試験対策 講義①	面接試験とその対策について学ぶ。
				19	面接試験対策 講義②	面接試験とその対策について学ぶ。
				20	個人面接試験練習 実践①	面接官個人との面接の際の受け答えや所作を学び、実践する。
評価方法・成績評価基準				21	個人面接試験練習 実践②	面接官個人との面接の際の受け答えや所作を学び、実践する。
①定期試験0% ②授業への積極的参加50% ③提出物0% ④学習意欲50%				22	集団面接練習 実践①	集団面接の際の礼儀や所作を学び、実践する。
				23	集団面接練習 実践②	集団面接の際の礼儀や所作を学び、実践する。
				24	グループディスカッション 実践①	グループディスカッションの際のルールや意見交換について学ぶ。
				25	グループディスカッション 実践②	グループディスカッションの際のルールや意見交換について学ぶ。
				26	模擬面接試験①	面接対策のまとめとしての模擬面接①
				27	模擬面接試験②	面接対策のまとめとしての模擬面接②
				28	ハローワーク求人情報共有会	随時実施(個人面談)
				29	ハローワーク求人情報共有会	随時実施(個人面談)
				30	ハローワーク求人情報共有会	随時実施(個人面談)
				31	就職後のビジネススキル①	職業能力開発講座
実務経験教員の経歴				32	就職後のビジネススキル②	職業能力開発講座
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間。人事・求人担当も経験あり。				33	就職後のビジネススキル③	職業能力開発講座
				34	就職後のビジネススキル④	職業能力開発講座

【成績評価基準】

A=秀(100-90点)	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B=優(89-80点)	達成目標を十分に達成している
C=良(79-70点)	到達目標を達成している
D=可(69-60点)	到達目標を最低限達成している
E=不可(59点以下)	到達目標に達成していない

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
学 年	2年	担当教員	阿部塊地/北村祐美/古沢通子/矢後達夫	3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
科 目 名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間	4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
使用テキスト名	SDGs見るだけノート			6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
補助教材	SDGs探求ワークブック			7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
科目概要と科目到達目標				9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには				16	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
				20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
評価方法・成績評価基準				21	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
				22	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				30	発表①	一年の活動報告
				31	発表振り返り	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	オリエンテーション／対馬の基本情報	対馬について基本的な情報を理解する
学年	2年	担当教員	鈴木純	2	対馬と日本の歴史と韓国との関わり(国生み)	古事記と伝説を通じた対馬について理解する
科目名	ツアーガイド演習	時間数	17単位時間	3	対馬と日本の歴史と韓国との関わり(万葉集)	白村江の戦い、防人について学ぶ
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	4	対馬と日本の歴史と韓国との関わり(元寇)	高麗水軍と元軍と神風
使用テキスト名	講師作成した印刷物			5	対馬と日本の歴史と韓国との関わり(朝鮮出兵)	対馬島主の苦悩と役割
補助教材	パワーポイントスライド			6	対馬と日本の歴史と韓国との関わり(朝鮮通信使)	平和の時代を築くということ
				7	対対馬と日本の歴史と韓国との関わり(植民地)	倭館の役割
				8	対馬と日本の歴史と韓国との関わり(韓流ブーム)	イメージの果たす役割
科目概要と科目到達目標				9	対馬と日本の歴史と韓国との関わり(オーバーツーリズム)	観光摩擦について
日韓の間に位置する対馬を通じた日韓交流史を学び、 日本と韓国との架け橋としての役割とは何かについてを考える				10	対馬の偉人	人に対する評価について
				11	対馬の地名	地名から歴史を改めて見る
				12	対馬の韓国人	在日について
				13	高校生との交流	韓国語を学ぶ世代
				14	発表1	対馬の町に見える交流の跡について
				15	発表2	対馬の町に見える交流の跡について
授業の進め方・学習方法・課題				16	発表3	対馬の町に見える交流の跡について
講師の講義形式の授業後、各自の意見を発表する。 また、グループに分かれて日韓交流を基にした対馬観光について調べて発表することを課題とする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	筆記試験	講義全体を通じてわかったこと
評価方法・成績評価基準						
①発表(課題)25% ②期末筆記試験25% ③授業への積極的参加30% ④出席率20%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	手話の基礎知識 (目指すもの・評価・検定) 自己紹介
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	選択必須	2	自己紹介①	名前 あいさつ 指文字
学 年	2年	担当教員	中林幸恵	3	自己紹介②	誕生日 星座 数 年齢 指文字
科 目 名	手話入門	時間数	17単位時間	4	自己紹介③	年齢 月日 曜日 指文字
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	都道府県①	北海道～北陸地方
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			6	都道府県②	関東地方～中国地方
補助教材	POWERPOINT SLIDE			7	都道府県③	山陰地方～沖縄地方
				8	ゲーム	都道府県 かるた
科目概要と科目到達目標				9	検定対策 6級試験 単語を学ぶ①	6級単語と使いながらロールプレイ
手話検定試験6級取得に向けた授業展開				10	検定対策 6級試験 単語を学ぶ②	6級単語と使いながらロールプレイ
⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる。				11	検定対策 6級試験 単語を学ぶ③	6級単語と使いながらロールプレイ
⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。				12	聴覚障がい者の方からの授業	手話を読み取れるか？表現できるか？
				13	手話DVD「オレンジデイズ」	手話の読み取りができるか？
				14	検定対策①	6級試験問題
授業の進め方・学習方法・課題				15	検定対策②	6級試験問題
手話検定6級取得に向けて、検定対策の単語学習・ロールプレイの実施。手話も言語のひとつということから楽しく手話を学んでいく。				16	検定対策③	6級試験問題
				17	手話検定試験6級	検定試験
○対面授業と遠隔授業の併用実施						
評価方法・成績評価基準						
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	選択必須	1	レクリエーション①：マフィアゲーム体験	オンライン上でできるレクリエーション紹介
学年	2年	担当教員	金相範	2	レクリエーション②：ライヤーゲーム体験	オンライン上でできるレクリエーション紹介
科目名	韓国コミュニケーション実践演習	時間数	17単位時間	3	指導体験①：マフィアゲーム指導	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	4	指導体験②：ライヤーゲーム指導	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
使用テキスト名	韓国ボードゲーム			5	レクリエーション③：韓国伝統ゲーム体験(ユンノリ)	韓国民族遊び体験
補助教材	Youtube動画資料			6	レクリエーション④：韓国伝統ゲーム体験(コンギ)	韓国民族遊び体験
				7	指導体験③：韓国伝統ゲーム体験(ユンノリ)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				8	指導体験④：韓国伝統ゲーム体験(コンギ)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
科目概要と科目到達目標				9	レクリエーション⑤：韓国ボードゲーム体験(ブルーマール)	韓国ボードゲーム体験
<p>韓国は高い教育熱の裏側に、習い事ばかり強いられ、人々との付き合いの苦手な若者が物凄く多い。この授業では、コミュニケーション能力向上と韓国の文化体験を目標に、韓国の大学や企業でよくあるレクリエーションを予め体験する。さらに、習った内容を自ら教えてみることで、進路に悩む学生に「講師」というお仕事体験もできるようにする。</p>				10	レクリエーション⑥：韓国ボードゲーム体験(泥棒逮捕)	韓国ボードゲーム体験
				11	指導体験⑤：韓国ボードゲーム体験(ブルーマール)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				12	指導体験⑥：韓国ボードゲーム体験(泥棒逮捕)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				13	レクリエーション⑦：韓国大学・企業のOTでよく行うゲーム	韓国大学・企業のOTでするゲーム体験
				14	レクリエーション⑧：韓国大学・企業のOTでよく行うゲーム	韓国大学・企業のOTでするゲーム体験
授業の進め方・学習方法・課題				15	指導体験⑦：韓国大学・企業のOTでするゲーム	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
<p>2週間韓国のレクリエーションを教え、2週間学生が直接講師として指導する。 チームを4組もしくは8組に分け、順番通りレクリエーションの講師として、学習した内容に基づいて指導してみる。 ボードゲームなど韓国語の知識がかなり必要なものは、アジア言語科の学生に担当させ、 言語知識があまりなくてもできる授業は、他学科の学生に指導体験をさせる。</p>				16	指導体験⑧：韓国大学・企業のOTでするゲーム	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				17	韓国レクリエーション講師体験で感じたことについてレポート作成	
評価方法・成績評価基準						
①授業への積極的参加60% ②レポート課題20% ③出席率20%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	挨～牙	演習
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	選択	2	瓦～嗅	演習
学 年	2年	担当教員	阿部塊地	3	復習テスト	テスト及び解説
科 目 名	漢字演習	時間数	17時間	4	巾～喉	演習
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	乞～腫	演習
使用テキスト名	硬筆書写技能検定公式テキスト			6	復習テスト	テスト及び解説
補助教材	なし			7	呪～膳	演習
科目概要と科目到達目標				8	狙～椎	演習
ワープロソフトで文書を作成することが多くなり、自動変換機能の支援により現代人はますます漢字が書けなくなっている。社会人のための一般教養として漢字を学び、語彙を増やすことにより豊かな表現力を養う。				9	復習テスト	テスト及び解説
				10	爪～罵	演習
				11	剥～壁	演習
				12	復習テスト	テスト及び解説
				13	蔑～治	演習
授業の進め方・学習方法・課題				14	弥～脇	演習
全ての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使うことを目標として練習問題と暗記をくり返し、最終的には漢字検定2級合格を目指す。				15	復習テスト	テスト及び解説
対面授業と遠隔授業の併用実施				16	読み・部首・熟語・四字熟語・対義語・類義語	演習
				17	同音・同訓異字・誤字訂正・送り仮名	演習
評価方法・成績評価基準						
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	プロローグ	文学作品の読み方を知る
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	選択必須	2	第1章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
学 年	2学年	担当教員	古沢 通子	3	第1章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
科 目 名	現代文学研究	時間数	17単位時間	4	発表①	自分の考えをまとめて発表する力を養う
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	第2章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
使用テキスト名	赤と青のエスキース PHP出版社			6	第2章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
補助教材	パワーポイント スライド			7	発表②	自分の考えをまとめて発表する力を養う
科目概要と科目到達目標 2022年本屋大賞2位作品を読み解く。 先を読む力、文章を読み解く力、人の意見を聞く力、自分の考えをまとめて発表する力を養い、就職後に活かせるよう、能動的な姿勢を身につける 一冊の本を元に、物事を深く考え、自分の言葉で人に説明する力を養う。				8	第3章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
				9	第3章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
				10	発表③	自分の考えをまとめて発表する力を養う
				11	第4章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
				12	第4章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
				13	発表④	自分の考えをまとめて発表する力を養う
				14	エピローグ	文学作品を読み解く力を身につける
				15	定期試験 発表⑤	自分の言葉で人に説明する力を養う
				16	定期試験 発表⑥	自分の言葉で人に説明する力を養う
				17	まとめ	
授業の進め方・学習方法・課題						
授業の3日前までに、決められた章(部分)を読み、解釈を200字程度のレポートで提出する。 授業時はそのレポートを元に発表、話し合いをして進めていく。 定期試験はPPTを作成し、プレゼンテーション形式で発表を行う。						
評価方法・成績評価基準						
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Itroduction to Movie Maing	Technics, examples and plot
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	選択必須	2	Story-Boarding	Create Movie groups; Create a movie scenario
学 年	2年	担当教員	マーク マリン	3	Story-Boarding Finish	Complete scenario writing
科 目 名	Making Movies	時間数	17単位時間	4	How to film from a story-board; Camera technics	Camera technics; lighting; perspective; sound
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	Shoot Movie Plan; Saving Data	How to shoot scenes; save data; editing
使用テキスト名	教材はすべて講師が用意します。			6	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
補助教材	パワーポイント スライド			7	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
				8	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
科目概要と科目到達目標				9	Reassess movie progress	Check data and sound; reshoot if necessary
ムービー制作の基本原理を習得。 自分のスマートフォンをムービー制作の道具として活用する方法を紹介。				10	Reassess movie progress	Check data and sound; reshoot if necessary
				11	Complete movie shoot; gather all data	Begin final edit process; sound editing
				12	Complete movie shoot; gather all data	Continue final edit process; sound editing
				13	Adding Graphics	Learn how to add graphics; titles; credits; etc.
				14	Adding Graphics	Continue graphics; titles; credits; etc. editing
授業の進め方・学習方法・課題				15	Fianl edit; pre-showing	Check final edit and show movie; assess final product
ムービー制作のデバイスとして、各自が所有するスマートフォンを使用。 ストーリーボードを使って映画のプロットを作成し、映画制作のタイムラインを計画。 グラフィックは、生徒用ムービーを上映する前の最終編集で追加される予定。				16	Fianl edit; pre-showing	Final edit and movie assessment
				17	Student Movie Festival	Show all student movies
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 40% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		